

# 産業建設委員会記録

令和5年5月19日(金)  
9時58分～11時53分  
全員協議会室

【委員】川上委員長、田畑副委員長、  
沖田委員、串崎委員、上野委員、布施委員、牛尾委員

【議長・委員外議員】笹田議長

【執行部】

(産業経済部) 佐々木産業経済部長、大屋商工労働課長、大谷産業振興課長(広島事務所長)、  
佐々木ふるさと寄附推進室長、佐々木農林振興課長、永見水産振興課長

(都市建設部) 戸津川都市建設部長、西谷建設企画課長、皆尾建設整備課長、  
倉本維持管理課長

(旭支所) 西川旭支所長、官澤産業建設課長

(弥栄支所) 馬場弥栄支所長、三浦産業建設課長

【事務局】 大下書記

---

## 議題

### 1 執行部報告事項

- |   |             |
|---|-------------|
| (1) 地域おこし協力隊の委嘱について                     | 【商工労働課】     |
| (2) 令和4年度萩・石見空港の状況について                  | 【商工労働課】     |
| (3) 第3弾プレミアム付「はまだ応援チケット」の販売について         | 【商工労働課】     |
| (4) はまだ応援チケット 取扱店アンケート調査報告書             | 【商工労働課】     |
| (5) 「道の駅」ゆうひパーク浜田リニューアルに向けた今後の取組について    | 【商工労働課】     |
| (6) 三桜酒造跡地公共活用検討委員会について                 | 【商工労働課】     |
| (7) 浜田港の概況について                          | 【産業振興課】     |
| (8) 令和4年度 はまだ産業振興機構活動実績について             | 【産業振興課】     |
| (9) 令和4年度 ふるさと寄附の実績について                 | 【ふるさと寄附推進室】 |
| (10) 令和4年度 広島事務所活動実績について                | 【広島事務所】     |
| (11) 令和4年 浜田市農業産出額について                  | 【農林振興課】     |
| (12) 浜田漁港周辺における水産事業の調査・研究に関する協定書の締結について | 【水産振興課】     |
| (13) 浜田自動車道4車線化事業概要について                 | 【建設企画課】     |
| (14) 浜田駅周辺整備事業に伴うJR委託工事の進捗について          | 【建設整備課】     |
| (15) 身近な公園整備基本方針の策定について                 | 【維持管理課】     |
| (16) 第三セクター(株)かくれの里ゆかり)の事業譲渡について        | 【旭支所産業建設課】  |
| (17) 浜田市ふるさと体験村施設の営業再開について              | 【弥栄支所産業建設課】 |
| (18) その他<br>・漁業別水揚げについて(資料配布のみ)         | 【水産振興課】     |

### 2 その他

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[ 9 時 58 分 開議 ]

○川上委員長

ただいま出席委員は7名で定足数に達しているので、直ちに産業建設委員会を開催する。レジュメに沿って進める。

1 執行部報告事項

(1) 地域おこし協力隊の委嘱について

○川上委員長

執行部から補足説明があるか。

○商工労働課長

このたび委嘱した方はもともと島根県立大学の卒業生で、一度は東京で就職したが浜田に戻り、今回の応募を受け委嘱の結びになった。これから企業訪問や研修先の掘り起こしなど行い、最大2年の間に事業を受け継ぐのか、希望される観光振興事業の事業承継をしながら起業していくのかを考えてもらいながら進めていく。

○川上委員長

委員から質疑があるか。

○布施委員

ショートインターンはどういうイメージか。

○商工労働課長

細かい期間は決めてない。2年間のうちに1、2か月のショートインターンを繰り返しながら、2年目以降の承継につなげていくイメージである。

○布施委員

ショートインターン期間は地域おこし協力隊の費用なども継続するのか。

○商工労働課長

基本的には継続である。ショートインターン期間は事業所に入り、関わりながらやっていくので、それに関する活動経費などは地域おこし協力隊の活動費を含めて動いてもらう。

○牛尾委員

事業承継したい受け皿企業、相手方はおよそどのくらいあるか。

○商工労働課長

今回は具体的に受け皿が決まったところへ入ってもらうのではなく、事業承継を考えているところとつないで、その中で彼自身が事業承継の情報を調べ、相談等しながら我々もつないでいく。

○牛尾委員

話を聞く限り荒っぽい。後継者はいないが事業を残したいという企業のリストがすでにあるならまだしも、全くの白紙からやるのは詰めが甘いように思う。このような

制度として稚拙な計画で、浜田市に定住して事業継承させる環境が作れるのか心配である。

**○商工労働課長**

市としても関係機関と協議を重ね、事業者からの相談内容もまとめている。当然そういったところも見てもらいながら、商工会議所や県の支援機関等の情報も共有しながら相談している。

**○牛尾委員**

うまくマッチングできればよいが、こういう制度を利用した方が浜田市に定住できるようなフォローが要る。譲渡に係る資金について、マッチングできたときの金融機関とのやり取りなど、市としてはどのような立ち位置になるか。

**○商工労働課長**

金融機関ともつなぐし、融資の相談にも関わる。国県市の補助金等が使えるなら案内するなど、資金繰り等の支援もしながら総合的に進める。

**○牛尾委員**

最後の資金繰りまで支援することを明確に示さないといけない。はまれば資金繰りも含めて起業できるという流れを見せないといけない。起業は大変なのでしっかりフォローしてほしい。

**○川上委員長**

ほかに。なければ私から。今後、当委員会においては商業・観光の従事者から意見を伺うことにしている。今回の応募者からも話が聞けたらと思う。

**(2) 令和4年度萩・石見空港の状況について**

**○川上委員長**

執行部から補足説明があるか。

( 「なし」という声あり )

委員から質疑があるか。

**○布施委員**

予算が縮減されているが、アウトの取組はあるが、インの利用促進に関する取組報告がないのはなぜか。

**○商工労働課長**

イン対策については促進協議会の中で浜田市から出しているのは、アウト対策用の補助金とさせてもらっている。イン対策は関東圏へのPRなどの強化や女性のインフルエンサーなどのSNSを活用したりして、協議会と一緒に進めている。令和5年度は萩・石見空港も開港30周年で多くのイベントを打つ予定なので、協力してイン対策を進めていきたい。

**○布施委員**

3年ぶりに移動の需要も高まってきて全国各地でPRが始まっている。有名な所はみんな行っている。何にもないところに人が興味を示していることがある。対策協議

会も何もしていないわけではないだろうが、大きなメニューを入れてほしい。じっとしている間に土台を考えておくべきだった。美肌県という売りがあったり、温泉施設の経営者が代わったり、いろいろな面でチャンスがある。それを空港利用と併せて情報発信するべきである。これまで時間はあったのに行動が遅い。

**○商工労働課長**

今後、市としてどのようなイン対策ができるか検討し、しっかり示せるよう考えていきたい。

**○串崎委員**

もし利用者が今年並みなら、どのくらいの請求が来るのか。

**○商工労働課長**

後で回答したい。

**○川上委員長**

ほかに。

( 「なし」という声あり )

**(3) 第3弾プレミアム付「はまだ応援チケット」の販売について**

**○川上委員長**

執行部から補足説明があるか。

**○商工労働課長**

第3弾も特に大きな課題等の声はなかったので、基本的には第2弾と同じように実施する。ただ、事業者からの声に応え、共通券と地元応援券の色分けを行った。

**○川上委員長**

委員から質疑があるか。

( 「なし」という声あり )

**(4) はまだ応援チケット 取扱店アンケート調査報告書**

**○川上委員長**

執行部から補足説明があるか。

**○商工労働課長**

第2弾が終わった時点で579店舗に対しアンケートを行い、293件の回答があった。資料にあるように、消費喚起、売上増加などチケット発行した効果はあったように思う。また、チケットの電子化についてもアンケート項目に入れたところ、レジ業務への不安やシステム経費への懸念があって、導入を希望される方は非常に少なかった。

紙質や五百円、千円などの金額については協議の上で変更しなかった。チケットのちぎりやすさについては印刷会社と相談し、ミシン目をずらすといった改善を図り、現在準備中である。

第3弾が終わった時点でも今後の分析のためにアンケートを取りたい。電子化についても検討していきたい。

○川上委員長

委員から質疑があるか。

○牛尾委員

年に1回は市民サービスとしてこういうものを出すことを制度化してほしい。

○串崎委員

なぜ500円券にこだわっているのか。

○商工労働課長

事業者にとっては確かに千円券のほうがよいようだが、利用者側にとっては500円のほうが使いやすいのではという話ももらっている。利用しやすさを考えて500円のままだと判断した。

○沖田委員

電子化の導入に関しては否定的な意見が大半だった。言い換えれば、浜田の商店街は電子化が後れているとも捉えられる。後れているなら進めるべきでは。

○商工労働課長

市内でどれだけのお店がキャッシュレスに対応できるかといったデータはないが、話を聞けば不安だということもあって導入してないところも多いのだと分かった。昨年度から電子化は国を挙げて進められているので、市全体で地域通貨やキャッシュレス化などがどれだけ利用してもらえるようになるか、市内システムとして使えるのか、先進事例の意見を聞きつつ進めていきたい。方向性がまとまればお示しする。

○沖田委員

商工会議所・商工会は今年度、デジタル化推進に努めるという方針を出している。経済団体と連携を図りつつ進めてほしい。

○川上委員長

ほかに。

( 「なし」という声あり )

(5) 「道の駅」ゆうひパーク浜田リニューアルに向けた今後の取組について

○川上委員長

執行部から補足説明があるか。

○商工労働課長

( 以下、資料を基に説明 )

○川上委員長

委員から質疑があるか。

○布施委員

3月定例会議では当委員会の代表質問において、ゆうひパーク浜田を取り上げた。今後リニューアルするまでの間に、ゲートウェイとしての役割の中で、浜田市民が行きやすい、利用しやすい方向性を提案したが、我々の委員会からの意見は生かされたのか。地域井戸端会でも市民からそういった声が出る。

○商工労働課長

議会からの意見は今後の道の駅リニューアルにおいて、特に地域の魅力を発信して集客力を高める持続可能な交流拠点としてにぎわいのある施設であることを基本方針に盛り込んだ。提案していただいた内容も当然念頭に置きながら進めていきたい。

○布施委員

道の駅を防災拠点としての防災実施計画などは考えているか。

○商工労働課長

市としては一時避難所に指定している。今後のリニューアルに向けても基本的には国が示す防災拠点機能の考え方としては、皆さんが集まれる駐車場などの広いスペースや、水の提供また通信等ができること基本的にはある程度満たされているが、それ以上の機能については、新たな運営事業者と今後協議していきたい。

○布施委員

公設民営の施設となったが、ソーラーシステムの導入などは運営事業者側が考えるのか、市が考えるのか。

○商工労働課長

今回は市の普通財産を新たな事業者は無償貸付けする考えである。事業者側から提案があれば検討することになるかと思う。現時点で、仕様としては考えていない。

○布施委員

災害も多いので自家発電として市からの逆提案もできると思う。発想を与えないと何も変わらない。ハード面について背中を押すことも必要である。

○牛尾委員

ゆうひパーク浜田の立地は全国1,197の道の駅の中で第9位、山陰地方の道の駅で50位以内に入っているのはあそこだけだったと記憶している。それだけ魅力的な立地にあるのに過去生かされてこなかった。新たな運営事業者は全国規模で公募するのか。

○商工労働課長

全国公募を考えている。

○牛尾委員

全国公募がよいと思う。ゆうひパーク浜田に関する、利用者の意見聴取はどのような形になるか。議会の意向がどのように反映されるかが見えてこないのだが。

○商工労働課長

意見聴取は検討させていただく。全戸にアンケートをするのか、道の駅にアンケートを置くか、ウェブを使うのか、関係者を集めて話を聞くのかを含め、議会からいただいた意見も踏まえ、予算が議決されればコンサルと一緒に検討する。

○牛尾委員

ノウハウを持ったところが来ればおそらく利益が出るだろう。一定金額以上の売上げがあれば、いくらか家賃なりを払ってもらおうような条件を付すべきではないか。それくらいの自信を持ってプロポーザルをやるべきである。

○川上委員長

今の話は、我々委員会の視察でも、そのような結果になっているところがあったので、ぜひ視察報告書を読んで検討をお願いする。

ほかに。

( 「なし」という声あり )

#### (6) 三桜酒造跡地公共活用検討委員会について

##### ○川上委員長

執行部から補足説明があるか。

##### ○商工労働課長

3月定例会議で三桜酒造跡地活用検討委員会についてお示しした。16名の委員で、6月22日に第1回の検討委員会を開催する予定である。その後のスケジュールは記載のとおりで、12月までに残り3回開催し利活用方針等を決定していきたい。

##### ○川上委員長

委員から質疑があるか。私から1点。資料を見ると今後のスケジュールに最初のプロポーザルがあるが、基本方針に対するプロポーザルは行わないのか。どのように使うか表明してもらってプロポーザルしたほうがよいのでは。

##### ○商工労働課長

活用方針を決定して以降か。

##### ○川上委員長

活用方針決定前に、案を全市民に示して意見を伺ったほうがよいのでは。検討委員会内だけでなく市民全体から意見をいただくことが必要では。

##### ○商工労働課長

12月の委員会で示された活用方針について、皆から意見を伺うということか。活用方針が決まればお示しする中で意見を伺うことが必要だとは思っている。

##### ○川上委員長

すでに久保田市長が各地域で、ここに神楽伝承館として300名程度が入るホールを造りたいと言って歩かれていると耳にした。事実、私も資料を持っている。そうなるのと、この検討委員会はいかがなものかと逆に疑わざるを得ない。ぜひ市民全般から意見を伺うようお願いしておきたい。

ほかに。

( 「なし」という声あり )

#### (7) 浜田港の概況について

##### ○川上委員長

執行部から補足説明があるか。

##### ○産業振興課長

浜田税関支署管内貿易概況については、浜田港と三隅港を合わせた概況であり、浜田税関支署が作成し公表したものである。令和4年貿易額は1,987億2千万円で、境港

をも上回る、1970年代の統計開始以降過去最高額となった。昨年11月に中国電力三隅発電所2号機が営業運転を開始したが、増額要因としては原料となる石炭価格の高騰、円安の影響があり、貿易額を大きく押し上げたと分析している。

○川上委員長

委員から質疑があるか。

○沖田委員

輸出額上位の船舶類とは何か。

○産業振興課長

令和3年度も船舶類が輸出上位だったが、石炭の運搬船が納船からパナマ船に変更したという特殊要因だった。今年は、掘削に利用した船舶をマレーシアに輸出したのが要因だと聞いている。

○沖田委員

継続的に浜田から輸出するものではなく、単発で出たものか。

○産業振興課長

おっしゃるとおり、スポット利用となっている。

○牛尾委員

これは当分続くことで喜ばしい。問題は輸出である。木材がちょっと少ない。笠松市民の森あたりはこの時期に伐採しないと、時期を過ぎると木材として良くないと聞く。産業経済部内でのそういったつながりはどうか。

○農林振興課長

木材の有効利用として輸出を考えたことがあった。しかし実際は受入れがなかなか難しいのと、直前で約束を取り消されるなどもあるらしい。笠松市民の森は確かに伐期が来ている。木材高騰の際に出そうとは思っていたのだが、ヒノキはすぐ下落してしまったので、まだタイミングを見計らっているところである。

○牛尾委員

林業従事者から、伐期を過ぎると価値が下がると聞いた。もっと連携や努力をされたら良いと思う。

○川上委員長

ほかに。

( 「なし」という声あり )

(8) 令和4年度 はまだ産業振興機構活動実績について

○川上委員長

執行部から補足説明があるか。

( 「なし」という声あり )

委員から質疑があるか。

( 「なし」という声あり )



(9) 令和4年度 ふるさと寄附の実績について

○川上委員長

執行部から補足説明があるか。

○ふるさと寄附推進室長

まず資料訂正のお願いである。資料中ほど、個人版・企業版の実績表に「令和4年」とあるが、どちらも「令和5年」の誤りである。また、個人版が3月末、企業版が5月末となっているのは、国への実績報告期限に沿ってのことである。

資料にはないが、この4月からふるさと寄附推進業務を委託する事業者をプロポーザルにて新たに、大阪に本社がある会社へ委託し、業務を開始している。実際の業務についてはその事業者の佐賀営業所にて主に実施するが、新しく浜田市にも事務所を準備中で、6月初旬オープンの手配である。4月6日に特産品提供事業者向けの説明会を行い、浜田の新事務所にも遠慮なくご相談いただくよう説明があった。皆と連携し、今年度は15億円を目標にふるさと寄附を推進していく。

○川上委員長

委員から質疑があるか。

○牛尾委員

企業版の金額が少ない。企業版は9割免税対象になるので全国的にも人気があるのだが。例えば例年でいくと個人版は普通に12億円あるだろうから3億円が企業版だといったような、内部の目標は持っているか。

○ふるさと寄附推進室長

15億の目標の内訳だが、個人版を伸ばしたい。企業版は地域再生計画が目標額1億円なので、それに向かう。

○牛尾委員

商品のブラッシュアップが絶対必要である。浜田市のフォローはどうなっているか。

○ふるさと寄附推進室長

今年度から新規提案書の一次受付が委託事業者によって行われる。事業者と直接つながる機会を持ち、事業者側の経験値を生かしたアドバイスがもらえる流れに変わった。これは受託事業者からの提案である。もちろん認定をどうするかは市が審議する。

返礼品の試食や、市外の人気特産品を取り寄せての研究会も昨年3月に実施した。こうしたことを重ねてブラッシュアップしていきたい。

○牛尾委員

資料を見るとやはりノドグロ関連が圧倒的である。去年に比べるとノドグロ単価は1.7倍くらいになっている。ノドグロ資源そのものが枯渇するのではと言われる中、ノドグロをかましたバラエティ商品といった仕掛けもないと、12億から15億を維持するのは難しい。ぜひ研究して、必ず目標に達してもらいたい。

○串崎委員

農業部門が大変弱い。ぜひ力を入れてPRしてほしい。

○川上委員長

私から一言。プロポーザルの際、この受託事業者からはどのような目新しい提案があったか。

**○ふるさと寄附推進室長**

ウェブからの寄附増額という方針が一致していた。そこを導入しなければ寄附は増えないといったことをきちんと押さえた提案をいただいた。利益が見込みより上回った場合、自社負担で有益な広告などもやっていきたいといった提案もあった。

**○川上委員長**

この程度のものが目新しかったのか。理解した。ではここで暫時休憩する。

[ 11時 03分 休憩 ]

[ 11時 11分 再開 ]

**○川上委員長**

再開する。(2)について商工労働課長から補足説明がある。

**○商工労働課長**

令和4年度の実績に合わせると、どれだけの運航支援が必要かという質問に回答する。各関係市町村で最大1億5千万円負担することになっている。そのうち、この実績でいくと1億1,600万円。浜田市としては約820万円程度の負担見込みとなる。

**(10) 令和4年度 広島事務所活動実績について**

**○川上委員長**

執行部から補足説明があるか。

( 「なし」という声あり )

委員から質疑があるか。

( 「なし」という声あり )

**(11) 令和4年 浜田市農業産出額について**

**○川上委員長**

執行部から補足説明があるか。

( 「なし」という声あり )

委員から質疑があるか。

**○串崎委員**

トマトがかなりマイナスになっている。うわさによるとTCトマトの正職員がかなり辞められ、経営状況もあまり良くないように聞いている。それが影響しているのか。経営状況が分かれば教えてほしい。

**○農林振興課長**

TCトマトは令和4年度中に経営者が代わり、経営改善に取り組まれている。令和5年度に二作型に変更し、春と秋の収穫になっている。20棟ハウスがあるが、うち10棟

だけの稼働とし効率化にも取り組まれている。厳しいとは思いますが頑張って経営されている。市としても水道代等の支援をしている。

○串崎委員

せっかく誘致した企業なので、何とか良い方向へ導いてほしい。

○牛尾委員

誘致企業の当初目標は年間5億円と事前レクチャーを受けていた。現状はどうなっているか。

○農林振興課長

現在は目標を1億8千万円に設定している。結果的に昨年に比べて1,860万9千円の減となっている。

○川上委員長

ほかに。

( 「なし」という声あり )

(12) 浜田漁港周辺における水産事業の調査・研究に関する協定書の締結について

○川上委員長

執行部から補足説明があるか。

○水産振興課長

現在の状況だが、まずは海面養殖の可能性調査で、馬島周辺の海面3地点の調査を実施する。馬島東側防波堤の陸側と、西側の新北防波堤の陸側、瀬戸ヶ島埋立地湾内の3地点に機器を設置する計画で、5月16日から実際に東側防波堤と瀬戸ヶ島埋立地湾内に潮流計を設置して、潮の流れと流速を約1か月間調査する。6月に入ったら新北防波堤にも潮流計を設置して約1か月調査する。ほかにも海底地形測量調査、採泥・採水調査を実施する予定である。8月には調査結果報告がある予定となっており、調査結果を共有してマルハニチロと養殖事業の研究を進めていきたい。

○川上委員長

委員から質疑があるか。私から一言。5月に潮流採泥となっているが、潮流は年間を通じての調査はやらないのか。

○水産振興課長

一番悪い状況のデータが必要だとおっしゃっている。冬季の調査も行う必要があると判断されれば実施の可能性もあると伺っている。

○川上委員長

ほかに。

( 「なし」という声あり )

(13) 浜田自動車道4車線化事業概要について

○川上委員長

執行部から補足説明があるか。

( 「なし」という声あり )

委員から質疑があるか。

**○上野委員**

大朝旭間の4車線化はありがたい。残土を心配する方がおられるので、分かればできるだけ早く地元へ伝えてほしい。

**○建設企画課長**

調査に入る前に地元自治会長にお知らせしたが、そのときには残土について詳しい話ができなと思う。大量に出る予定の残土をどのように処分するかは県、市、近隣市町と連携して検討している。今年度中に大きな方向性は出したいとNEXCOから聞いている。

**○布施委員**

大朝瑞穂間は積雪時にチェーン規制などが結構ある。4車線化したらこういった規制はどうなるのか。

**○建設企画課長**

結論から言うと同じようにチェーン規制は出ると思っている。4車線片側2車線になると除雪の際に1車線は確保できるため、通行止めができるだけ回避できると聞いている。

**○串崎委員**

令和7年度から発注準備だそうだが、最終的に何年に完成するか。

**○建設企画課長**

NEXCOは、今のところ明確にはお答えできない、供用開始の見通しが立てば事前に知らせるとのことだった。私のほうである程度調べたところ、おおむね10年くらいを想定している。

**○川上委員長**

ほかに。

( 「なし」という声あり )

**(14) 浜田駅周辺整備事業に伴うJR委託工事の進捗について**

**○川上委員長**

執行部から補足説明があるか。

**○建設整備課長**

JR委託工事については協定締結後1年が経過したので、工事の進捗及び今後のスケジュールについて報告する。

( 以下、資料を基に説明 )

**○川上委員長**

委員から質疑があるか。

( 「なし」という声あり )

(15) 身近な公園整備基本方針の策定について

○川上委員長

執行部から補足説明があるか。

○維持管理課長

( 以下、資料を基に説明 )

○川上委員長

委員から質疑があるか。

( 「なし」という声あり )

(16) 第三セクター（株かくれの里ゆかり）の事業譲渡について

○川上委員長

執行部から補足説明があるか。

○旭支所産業建設課長

( 以下、資料を基に説明 )

○川上委員長

委員から質疑があるか。

○布施委員

日帰り温泉は再開されたか。

○旭支所産業建設課長

現在は今までの営業をそのまま継続されているので、日帰りは行ってない。

○布施委員

旭温泉はコンテストなどにもいろいろ出ている。日帰り温泉も再開すべきではないか。経営者に任せるのか。話し合いはされないのか。

○旭支所産業建設課長

地元協議において要望を伺ったが、事業者にとっては利益が成り立ってこそということもあるので100%の回答はできないが、議論をいただきながら一緒に取り組んでいきたいとの発言はいただいたので、一緒になって取り組もうと考えている。

○川上委員長

ほかに。

( 「なし」という声あり )

(17) 浜田市ふるさと体験村施設の営業再開について

○川上委員長

執行部から補足説明があるか。

○弥栄支所産業建設課長

ログハウスの利用について訂正がある。5件12人と記載しているが、正しくは5件10人である。したがって合計は13件の54人となっている。

( 以下、資料を基に説明 )

○川上委員長

委員から質疑があるか。

○布施委員

春祭りに一住民として参加した。イベント的には人数も多くて良いが、リニューアル直後が一番人が来るのに、体験ができるという以上、何をここでやっていきたいのかといった情報発信がほとんどない。情報発信できる場、チャンスがあったのにやっていなかった。特にログハウスは鍵が掛かり、カーテンが閉まっていた中が見られなかった。使ってみたいという気持ちにさせられなかった。利用状況を見ても大変ではないかと思った。冬場はしないのであれば稼げるときにやらないと難しい気がする。予約状況はどうなのか。

○弥栄支所産業建設課長

当日に施設内も見てもらえれば一番良かったのだが、すでに宿泊客が入っているところがあったので、内覧企画ができてなかったのは確かに反省点だと思う。いろいろな点で情報発信が足りなかったのもご指摘のとおりである。祭りの反省も行い、改善していく形で今後取り組んでいきたい。

一つの大きい波であるゴールデンウィークでしっかり集客するのは当然なのだが、満室には至ってない。次の波である夏休みに向けて、広島PRセンターも集客に協力している。このゴールデンウィークで訪れたお客の約半数は広島方面からと聞いている。残り半分は大半が浜田で、益田からも1件あった。周知やPRが不足しているので地元と市と一緒にやっていきたい。

○布施委員

そういうことは踏まえた上でのリニューアルではなかったのか。経営は思ったようにいかないのが常だが、最低限一番人が集まりやすいリニューアルオープンのタイミングで、鍵を掛けて中を見せないなど。分かり切っていることをなぜ最初から発想できないのか。非常に残念でならない。広島にもだが、浜田市内の人にも体験してもらえよういろいろな組織に声かけをしてもらいたい。

○川上委員長

今の意見、希望などをぜひ酌み取って活動してほしい。ほかに。なければ私から1件。連休中もだが現在も確か、旭弥栄インター線が通行止めのはずである。広島からの誘客と言いつつ、メインの道路が通行止めになっている。この点はしっかり内部協議、県とも協議し、せめて土日は開けていただく形にしたほうが良いかと思う。

(18) その他

- ・漁業別水揚げについて（資料配布のみ）

○川上委員長

配布物が1件ある。漁業別水揚げについては資料配布のみとしているので、各自で確認してほしい。

ほかにあるか。

○牛尾委員

山陰道は萩・石見空港まで開通するのは令和7年度中とあるが、途中どこかまでを早く開けるようなことはあるのかと聞かれる。細かいスケジュールは分かるか。

○都市建設部長

三隅インターの入り口が渋滞することもあり、岡見インターまで一部供用できないだろうかと国交省に話をさせてもらったのだが、それによって事業費が上がったり、令和7年開通も厳しい状況の中で、かえって時期が遅れる懸念もあると言われ、それ以降は言わないようにしている。とにかく令和7年度の早いうちに益田までつなげてほしいと伝えるにとどめている。

○川上委員長

執行部からの報告事項は終わった。5月26日の全員協議会へ提出し説明すべきものについて決定したい。まず執行部の意向を確認したい。

○商工労働課長

(5)、(6)、(15)、(16)、(17)、以上を報告したい。

○川上委員長

執行部から5件の意向が示された。意向のとおりで良いか。

( 「異議なし」という声あり )

全員協議会の報告事項が決定したのでよろしく願います。

2 その他

○川上委員長

執行部から何かあるか。

( 「なし」という声あり )

委員から何かあるか。

○牛尾委員

昨日昼間、紺屋町にクマが出た。その前は相生町だった。中山間地域ではなく住宅街のど真ん中である。そこの住民は野生動物に慣れてないので、もし町なかでクマやイノシシに遭遇したらどうしたらよいか、何か考えてほしい。

○農林振興課長

このたびのクマは、まず相生に5月14日5時半に出た。翌日6時20分に出て、防犯メールを流して周知した。出た場合は常に浜田市と警察によってパトロールを実施している。一応広報はまだにクマの記事を載せているし、出たところにはチラシを配るようにしている。

このたびは時期的に、親離れしたクマが迷って町なかに出てしまっていて帰れなくなったのだと思う。小さいクマなので人におびえていると思うが、今はパトロールを中心に出会わないよう周知している。

○川上委員長

市民が対応する方法についてもご教授願うという話があったので、それについても

ぜひ検討いただきたい。今井迫川を經由してクマが移動しているのではと心配している。その点についても十分検討してほしい。

ほかに。なければ私から1件、意見交換会についてである。6月定例会議までに商業関係者との意見交換会を行いたいと考えている。これまで同様に、意見交換会後に問題点や課題について皆の意見を集約し、9月定例会議で委員会代表質問を行いたい。現在日程調整中なので、ご協力をお願いします。このことは後日皆に報告する。

以上で全ての議題が終了した。最後に次回委員会は6月16日金曜日、定例会議初日の開催を予定している。意見交換会については調整後にお知らせする。

以上で産業建設委員会を終了する。

[ 11時 53 分 閉議 ]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

産業建設委員会委員長 川 上 幾 雄